

○ 本校の概要

<p>〈生徒の様子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内に活気があり、部活動にも一生懸命取り組んでいる。素直に物事を考える生徒が多い。</li> <li>・学習意欲は少しずつ高まってきたが、家庭学習への取り組み方については個人差が大きい。</li> <li>・行事に対する思い入れが強い生徒が多く、クラス一丸となっていへん熱心に行事に取り組んでいる。</li> </ul>	<p>〈地域の様子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな繁華街に隣接した地域であるが、静かな落ち着いた住宅地となっている。</li> <li>・地元を愛している方がたいへん多く、所謂地域力も非常にある。</li> <li>・保護者や地域の方々はたいへん学校に協力的で、様々な面で支援してくださっている。</li> </ul>
---	--

○ 自己評価及び学校関係者評価の取組指標&成果指標

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	学校関係者記入欄 コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまづきや学習方法について、指導する。	〈年度末に生徒対象の学習に関するアンケート調査を実施〉 4: 学習に対する意欲・関心に関する質問項目において、肯定的な回答が85%以上であった。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カルテは志茂田中で改善したものを作成し、効率よく指導することができた。</li> <li>・数学科教員は4分の3名が入れ替わり、より頻りに教科部会を開くようになった。しかし、ステップ学習チェックシートの徹底は改善すべき課題であった。</li> <li>・補習やALTの活用は効果的に行われた。</li> <li>・小中一貫の授業改善推進プランを作成し、幅広い視野から改善を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び教職員は生徒の学ぶ意欲を高め、学力を定着させる努力をしている。</li> <li>・勉強が大切と考える生徒がとて多いと思われる。</li> <li>・先生によって教え方に若干差があるように感じる。若い先生も多くなっているため、今後のレベルアップを期待します。</li> <li>・(一般的には現代は)20人に1人の割合で発達障害を持つ子がいるとのこと。大変ではあるでしょうが、しっかりと支援していただきたい。</li> <li>・漢検や英検の監督時に感じたことは、高い級を受ける生徒が目立ち、試験に取り組む姿勢にも好感がもてました。</li> </ul>
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3: 学習に対する意欲・関心に関する質問項目において、肯定的な回答が75%以上であった。			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	2: 学習に対する意欲・関心に関する質問項目において、肯定的な回答が60%以上であった。			
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	1: 学習に対する意欲・関心に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満であった。			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	1: 学習に対する意欲・関心に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満であった。			
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	〈年度末に生徒対象の生活に関するアンケート調査を実施〉 4: 自己肯定感に関する質問項目において、肯定的な回答が85%以上であった。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みらいのわたし」による生活指導を継続している。連携校以外の生徒増への対応も工夫している。</li> <li>・新採も道徳授業について学び、3学期には校内研修で研究授業を実施するまで成長した。</li> <li>・学校生活調査・Q-Uを活かす指導を継続した。</li> <li>・委員会や学年会・生活指導部会などはもちろんのこと、日頃から情報交換をしっかりと行い、いじめの未然防止、早期発見に努めた。</li> <li>・必要に応じてケース会議を開いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志茂田中の生徒は優しい子・おとなしい子が多いと思う。もう少しやんちゃな元気さがあったもよいのではないかなと思う。(特に男子)</li> <li>・特別な支援が必要とされる生徒への対応に今後も努力していただきたい。</li> <li>・自分にプライドを持ち、他人の人格も尊重する生徒が多いと思われる。</li> <li>・放課後などに学校に足を運ぶ際に感じた事は、率先して挨拶をしてくれたり、話しかけると笑顔で答えてくれる生徒が多いということですね。全生徒に広がるといいな！と思いました。</li> </ul>
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	3: 自己肯定感に関する質問項目において、肯定的な回答が75%以上であった。			
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	2: 自己肯定感に関する質問項目において、肯定的な回答が60%以上であった。			
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	1: 自己肯定感に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満であった。			
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	1: 自己肯定感に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満であった。			
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	〈年度末に生徒対象の生活に関するアンケート調査を実施〉 4: 健康・体力の保持・増進についての質問項目において、肯定的な回答が80%以上であった。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事中のため、狭い校庭で、体育館と武道場は志茂田小学校とシェアして使うという現状だが、限られた条件の中でよく運動している。</li> <li>・朝ごはんをしっかりとっているという資料を得て、ご家庭の愛情を感じ取ることができた。</li> <li>・工夫されたメニューと、栄養士さんの行き届いた目配り・気配りで、毎日が食育になっている。</li> <li>・体幹訓練によって集会時の集中力も増し、姿勢も良くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の体力増進にむけて学校教職員は総合的な取組をしている。</li> <li>・生きる力の源には体力もあります。体力・健康の増進は生きる力の向上にもつながります。</li> <li>・建替え工事が続いている中で、先生方も生徒もよく頑張っていると思う。体力の向上は日々の積み重ねが大切なので、学校以外でも取り組んでほしい。</li> <li>・体幹トレーニングとは、とても良い運動を取り入れたと思えます。基礎体力の向上だけでなく、健康面や集中力など、学校生活全般・日常生活においても役に立つと思っています。これからも続けてほしいと思います。</li> </ul>
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	3: 健康・体力の保持・増進に関する項目において、肯定的な回答が70%以上であった。			
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	2: 健康・体力にの保持・増進に関する項目において、肯定的な回答が50%以上であった。			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	1: 健康・体力にの保持・増進に関する項目において、肯定的な回答が50%未満であった。			
		オリンピック・パラリンピック教育の一環として体幹トレーニングを展開すると共に、保健指導を充実させ、生徒一人一人の体力向上と健康増進を図る。	1: 健康・体力にの保持・増進に関する項目において、肯定的な回答が50%未満であった。			
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	〈年度末に生徒対象の学習に関するアンケート調査を実施〉 4: 授業内容の理解度に関する質問項目において、肯定的な回答が80%以上であった。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価を記名制にすることによって、いただいたご意見を今まで以上に真剣に受け止めようとするようになった。</li> <li>・若手教員が増え、お互いに刺激し合うと同時に、主任教諭の助言・支援も日常的になっている。</li> <li>・ICTの活用率は高いほうだと思う。便利な反面、子どもたちの思考力を落とさないように気を付けていきたい。</li> <li>・校内委員会は新たなメンバーも馴染んでいる。報告連絡相談の徹底が鍵だと思われる。</li> <li>・小中連携は継続して行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早く整備された校庭が欲しいですね。</li> <li>・学校は学習環境の向上に努めていると評価しています。</li> <li>・先生方が各主任先生のリーダーシップのもと、教科・学年、さまざまな分掌の軸で研鑽を積み重ねているのは素晴らしいことです。</li> <li>・小中4校の連携・交流についてはそれぞれの立場があり、大変なことだと思いますが、これからも続けてほしいと思います。</li> <li>・小学校との共用部分と校庭の工事が完了していないので、環境が整っているとはいえないが、先生方の頑張りやそれを補っていると思う。</li> </ul>
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	3: 授業内容の理解度に関する質問項目において、肯定的な回答が70%以上であった。			
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	2: 授業内容の理解度に関する質問項目において、肯定的な回答が50%以上であった。			
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	1: 授業内容の理解度に関する質問項目において、肯定的な回答が50%未満であった。			
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	1: 授業内容の理解度に関する質問項目において、肯定的な回答が50%未満であった。			
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりたい。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	〈年度末に保護者対象のアンケート調査を実施〉 4: 学校に対する満足度に関する質問項目において、肯定的な回答が85%以上であった。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の情報発信については肯定的な回答が86%強であった。</li> <li>・工事の第1期を終え、地域教育連絡協議会でも、学校支援地域本部でも強い関心をもって本校をあたたかく見守っていただいている。</li> <li>・ボランティア活動はまだ充分とは言えないが、昨年度よりは関わりが増している。</li> <li>・家庭学習をしっかりとやっているかどうかの保護者の肯定的な回答が46.3%にとどまっています、今後の課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域力をいかにした連携活動を今後どのように増やしていくかが、課題である。</li> <li>・生徒のボランティアに対する意識は高く感じます。</li> <li>・地域力・地域の重要性を先生方がよく認識されていると存じています。一方、地域もこれに応えようとしていると考えます。このよい関係をさらに発展させて参りましょう。</li> <li>・家庭や地域との関わりを大切にかどうかの保護者の肯定的な回答が46.3%にとどまっています、今後の課題である。</li> <li>・PTA役員が一部くじ引きになり、残念です。先生方に負けぬように、保護者の方々も学校・地域に目を向けてくれることを願います。</li> </ul>
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	3: 学校に対する満足度に関する質問項目において、肯定的な回答が75%以上であった。			
		学校支援地域本部と連携するなど、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	2: 学校に対する満足度に関する質問項目において、肯定的な回答が60%以上であった。			
		各種地域行事において積極的にボランティア活動に関わるよう生徒に働きかけ、町会や青少年対等地域との連携を強化していく。	1: 学校に対する満足度に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満であった。			
		家庭学習の取組を強化していくために、様々な場面で生徒と保護者に具体的に呼びかけ、意識を高めていく。	1: 学校に対する満足度に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満であった。			
特色取組	生徒が地域とのつながりを感じられるようになることをめざし、生徒会が「おやじの会」や「青少年対等」になって行事の運営を行う機会を設けると共に、学校全体で行事への参加を推奨していく。	〈年度末に保護者対象のアンケート調査を実施〉 * 参加生徒を対象としたアンケート調査を実施し、活動に対する肯定的な回答の割合で判断する。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おやじの会」・青少年対等には感謝あるのみである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の自己評価は適正である。ありがとうございます。</li> <li>・「おやじの会」・青少年対等のメンバーとしてこれからも協力させていただきます。</li> </ul>	